



三菱UFJ証券ホールディングス

平成25年3月期 決算説明資料

三菱UFJ証券ホールディングス株式会社

平成25年4月

連結決算概要

- ・ 連結決算ハイライト P2
- ・ 純営業収益及び販売費・一般管理費 P3
- ・ 純営業収益内訳 P4
- ・ 平成25年3月期のトピックス P5
- ・ 連結業績推移(通期、四半期) P6
- ・ 連結貸借対照表の状況 P7

主要会社情報

- ・ 三菱UFJモルガン・スタンレー証券(MUMSS)の状況 P8
- ・ 海外現地法人・国際投信投資顧問(KAM)の状況 P10

財務基盤関連情報

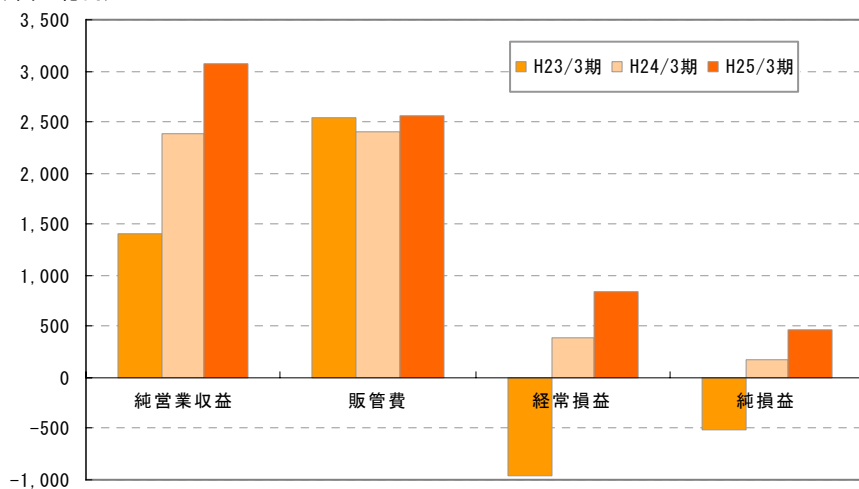
- ・ 財務基盤関連指標(格付、自己資本規制比率等) P11
- ・ 市場リスクに係る定量的情報 P12

年間業績推移

- 銀証協働やモルガン・スタンレーとの連携の深化による収益力の強化、筋肉質の経費構造構築、リスク管理の高度化などを強みに推進し、市況にかかわらず安定して黒字を計上できる経営体質を実現。
- 年度後半の市場活況の追い風もあり、経常利益は842億円、当期純利益は469億円といずれも前年比大幅な増益。

年間業績の推移

(単位: 億円)



単位: 億円

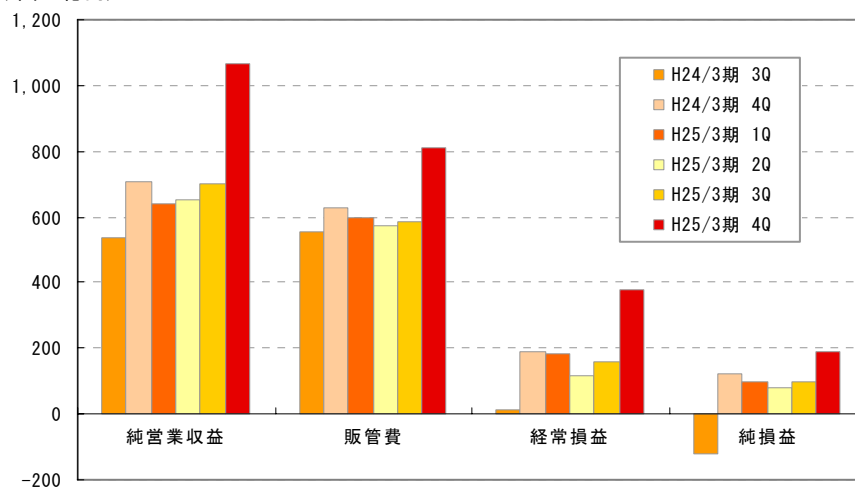
	H23/3期	H24/3期	H25/3期
純営業収益	1,398	2,385	3,060
販管費	2,548	2,401	2,568
経常損益	-958	381	842
純損益	-504	165	469

四半期業績推移

- お客様とのお取引を起点としたビジネスモデルの定着、提案型営業の進展などが、安定的な収益の計上に大きく寄与。
- 4Qは国内市況の好転を受け3Q比大幅な増益を達成。経常利益378億円、当期純利益188億円といずれも直近6四半期で最高水準となった。

四半期業績の推移

(単位: 億円)



単位: 億円

	H24/3期 3Q	H24/3期 4Q	H25/3期 1Q	H25/3期 2Q	H25/3期 3Q	H25/3期 4Q
純営業収益	538	706	639	651	700	1,069
販管費	555	625	599	575	584	808
経常損益	14	189	186	118	158	378
純損益	-122	125	100	80	100	188

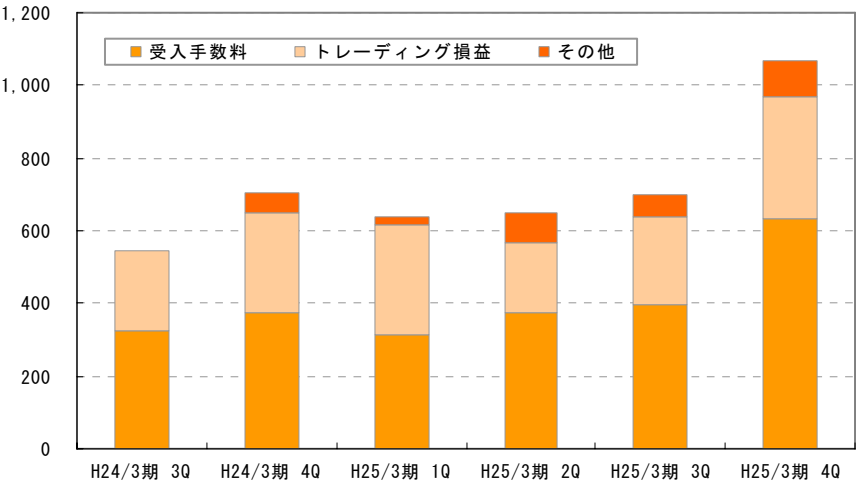
(単位未満切捨)

純営業収益

■国内市況の好転を背景に、4Qの受入手数料は3Q比60%増と大幅な増加を達成。トレーディング損益も高水準の収益を計上し、純営業収益は1,000億円を突破。

純営業収益の四半期推移

(単位: 億円)



単位: 億円

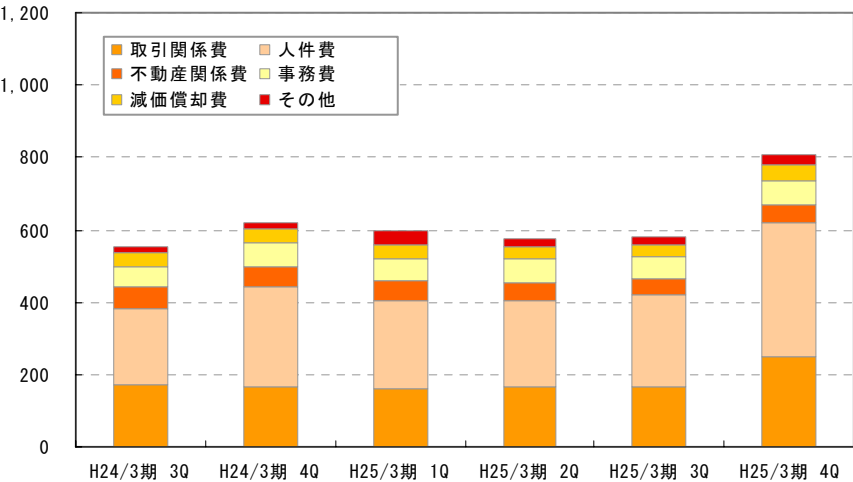
	H24/3期 3Q	H24/3期 4Q	H25/3期 1Q	H25/3期 2Q	H25/3期 3Q	H25/3期 4Q
受入手数料	323	375	316	374	394	633
トレーディング損益	222	273	299	194	243	336
その他	-6	57	23	82	62	99
合計	538	706	639	651	700	1,069

販売費・一般管理費

- 人件費及び取引関係費は収益に連動して増加。
- 一方で、昨年度に講じた各種施策の効果により、不動産関係費や減価償却費などの固定費は引き続き低水準に抑制。

販売費・一般管理費の四半期推移

(単位: 億円)



単位: 億円

	H24/3期 3Q	H24/3期 4Q	H25/3期 1Q	H25/3期 2Q	H25/3期 3Q	H25/3期 4Q
取引関係費	169	167	161	166	165	249
人件費	213	274	245	236	253	368
不動産関係費	60	59	55	51	47	53
事務費	57	62	61	66	63	68
減価償却費	37	38	35	34	33	39
その他	17	22	38	20	20	29
合計	555	625	599	575	584	808

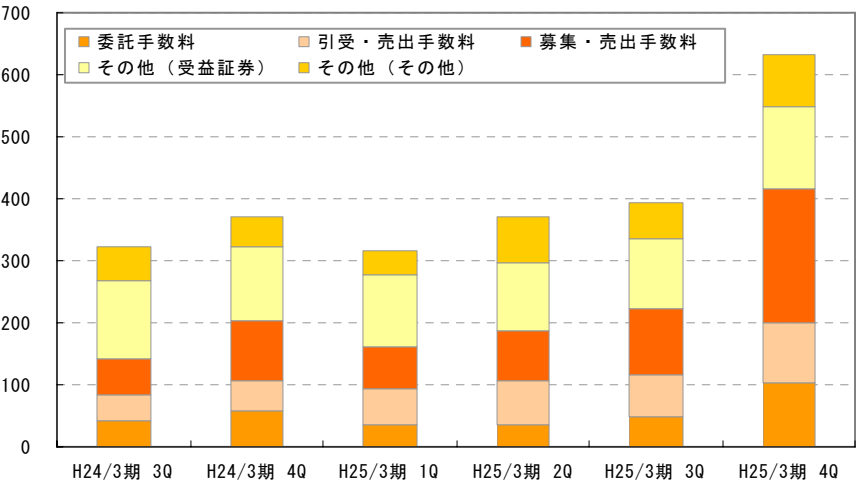
(単位未満切捨)

受入手数料収入

- 委託手数料: 国内株式市場の取引高増加に伴い4Qは3Q比倍増。
- 引受・売出手数料: 海外での銀証協働の進展を主因に増加基調が継続。
- 募集・売出手数料: 新興国関連投信の好調に加え株式投信販売も増加。
三菱UFJメルリランチPB証券の子会社化も寄与し4Qは200億円を超過。
- その他の受入手数料: 投信関連手数料は低下トレンドが反転、その他では大型クロスボーダー案件の獲得等M&A収益が好調に推移。

受入手数料収入の四半期推移

(単位: 億円)



単位: 億円

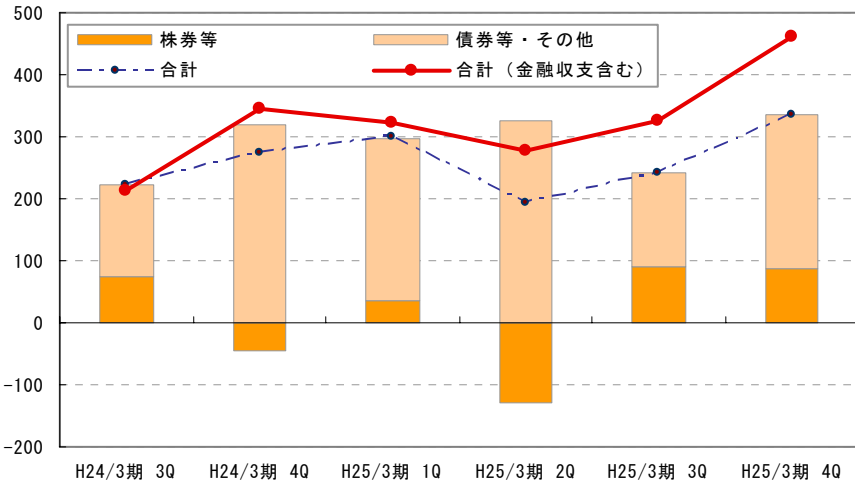
	H24/3期 3Q	H24/3期 4Q	H25/3期 1Q	H25/3期 2Q	H25/3期 3Q	H25/3期 4Q
委託手数料	42	58	36	37	50	103
引受・売出手数料	42	49	57	70	67	97
募集・売出手数料	58	95	69	80	107	217
その他の受入手数料(受益証券)	126	120	114	110	111	132
その他の受入手数料(その他)	53	50	39	75	58	83
合計	323	375	316	374	394	633

トレーディング損益

- 株式関連トレーディングは、国内市場が活況を呈するなか好調を継続。受取配当金を勘案すれば、4Qは直近6四半期で最高水準を達成。
- 債券関連トレーディングは、大口顧客フロー取込みにより円債を中心とした市場シェアを高位に維持し、安定的に高水準の収益を計上。

トレーディング損益の四半期推移

(単位: 億円)



単位: 億円

	H24/3期 3Q	H24/3期 4Q	H25/3期 1Q	H25/3期 2Q	H25/3期 3Q	H25/3期 4Q
株券等	74	-45	36	-130	90	88
債券等・その他	147	319	262	325	152	247
合計	222	273	299	194	243	336
金融収支	-8	71	22	83	82	125
うち、受取配当金*	6	49	5	116	27	66
合計(金融収支含む)	213	344	322	278	325	461

*トレーディング商品から生じる受取配当金(表示区分は金融収益)

(単位未満切捨)

1. 銀証協働、モルガン・スタンレーとの連携の発展

➤ 銀証協働の国内外での推進

⇒ 銀証協働の大幅な進展により、プライマリー、セカンダリーとも好調。

⇒ 海外現地法人においても銀証協働を推進し、債券引受業務をはじめ、各種取引が拡大。

➤ モルガン・スタンレーとの連携

⇒ モルガン・スタンレー売社債や投信商品の共同開発などにより、商品ラインアップが拡充。

⇒ 投資銀行業務では、クロスボーダーM&Aをはじめ、各種大型案件獲得に成功。

著名な経済誌や専門誌からの各種アワード受賞

・「Euromoney」誌: Awards for Excellence 2012 「Best Investment Bank in Japan」、「Best Equity House in Japan」

・「Asiamoney」誌: Best Bank Awards 2012 – Japan 「Best Investment Bank」、「Best M&A Adviser」、「Best Debt Arranger」等

2. 新規業務

➤ 三菱UFJメリルリンチPB証券の子会社化(H24年12月)

⇒ MUFGベースで100%子会社化し、MUFGの広範な富裕層顧客基盤へのプライベート・バンキング・サービスを更に強化。

3. 海外業務運営体制の高度化

➤ インターナショナル・マネジメント・フレームワークの導入

⇒ 海外業務運営の高度化を目指し、これまでの拠点軸中心のガバナンスに業務軸を加えた、マトリクス型ガバナンス体制へ移行。

これにより、地域横断的なサービス提供力や、業務インフラの共通化等による効率性、および経営管理上の透明性などが向上。

H25年3月期は、国内・海外における銀証協働戦略およびモルガン・スタンレーのグローバル・ネットワークを活用した業務運営をさらに推進。

あわせて経営管理・基盤の高度化を進め、「市況にかかわらず、安定して黒字を計上できる経営体質」を実現。

MUFGの中核証券、モルガン・スタンレーとのジョイント・ベンチャーという強みをさらに活かすとともに、一段の飛躍に向けて質の高度化へ挑戦。

連結業績推移（通期、四半期）



三菱UFJ証券ホールディングス

単位：百万円

	通 期	
	H24年3月期	H25年3月期
営業収益	306,926	350,524
受入手数料	143,016	171,957
トレーディング損益	86,031	107,329
営業投資有価証券等損益	-2,173	-4,735
その他の商品売買損益	-486	125
金融収益	80,538	75,846
金融費用	68,341	44,441
純営業収益	238,585	306,082
販売費・一般管理費	240,124	256,881
営業損益	-1,539	49,201
営業外収益	42,473	36,717
営業外費用	2,756	1,690
経常損益	38,177	84,228
特別利益	18,238	5,154
特別損失	31,859	3,531
法人税等	1,782	2,916
少数株主損益	6,190	35,988
純損益	16,583	46,946

	四 半 期					
	H24年3月期		H25年3月期			
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
営業収益	67,838	86,287	76,379	78,906	76,074	119,164
受入手数料	32,343	37,583	31,659	37,432	39,472	63,393
トレーディング損益	22,201	27,319	29,939	19,468	24,304	33,617
営業投資有価証券等損益	191	-942	49	-88	-2,036	-2,659
その他の商品売買損益	2	-495	12	31	51	30
金融収益	13,099	22,822	14,718	22,063	14,282	24,782
金融費用	13,939	15,680	12,452	13,714	6,062	12,212
純営業収益	53,899	70,607	63,926	65,192	70,011	106,951
販売費・一般管理費	55,586	62,571	59,949	57,597	58,436	80,896
営業損益	-1,687	8,035	3,977	7,594	11,574	26,054
営業外収益	3,946	10,917	15,351	4,445	4,065	12,855
営業外費用	817	-38	654	211	-193	1,018
経常損益	1,442	18,992	18,674	11,828	15,834	37,891
特別利益	8	1,375	609	2,001	1,273	1,270
特別損失	20,926	884	851	638	110	1,930
法人税等	418	-207	1,189	-1,379	722	2,384
少数株主損益	-7,623	7,190	7,237	6,558	6,192	15,999
純損益	-12,270	12,501	10,005	8,012	10,082	18,846

（単位未満切捨）

連結貸借対照表の状況



三菱UFJ証券ホールディングス

単位:十億円

	H24年 3月末	H24年 9月末	H25年 3月末
資産の部			
流動資産	21,728	24,157	25,754
現金・預金	452	332	719
トレーディング商品	12,183	13,798	15,530
有価証券担保貸付金	7,684	8,766	8,194
その他	1,407	1,259	1,309
固定資産	707	772	752
有形固定資産	29	27	27
無形固定資産	26	24	43
投資その他の資産	652	719	680
資産合計	22,436	24,929	26,506

	H24年 3月末	H24年 9月末	H25年 3月末
負債の部			
流動負債	20,595	23,018	24,372
トレーディング商品	10,762	11,635	12,471
有価証券担保借入金	7,486	8,607	9,142
短期借入金	617	903	996
その他	1,729	1,872	1,761
固定負債	1,020	1,066	1,208
社債	689	725	803
長期借入金	310	322	379
その他	20	19	26
負債合計	21,616	24,086	25,582
純資産の部			
株主資本	648	666	688
その他の包括利益累計額	-52	-50	-21
少数株主持分	224	227	257
純資産合計	819	843	924
負債・純資産合計	22,436	24,929	26,506

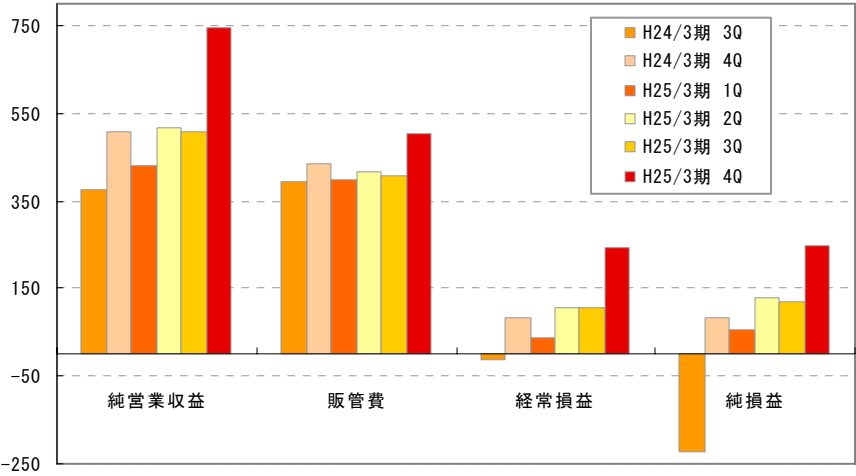
(単位未満切捨)

四半期業績推移

- H25年3月期は、受入手数料、トレーディング損益とも好調に推移し、経常利益、当期純利益ともに増益トレンドを継続。
- 特に4Qは市場の活況という追い風もあり、株式・投信関連の手数料等を牽引役として、経常利益、当期純利益とも3Q比倍増。

四半期業績の推移

(単位: 億円)



単位: 億円

	H24/3期 3Q	H24/3期 4Q	H25/3期 1Q	H25/3期 2Q	H25/3期 3Q	H25/3期 4Q
純営業収益	375	510	431	516	510	744
販管費	392	437	400	415	406	501
経常損益	-11	83	39	104	108	243
純損益	-221	84	57	131	122	249

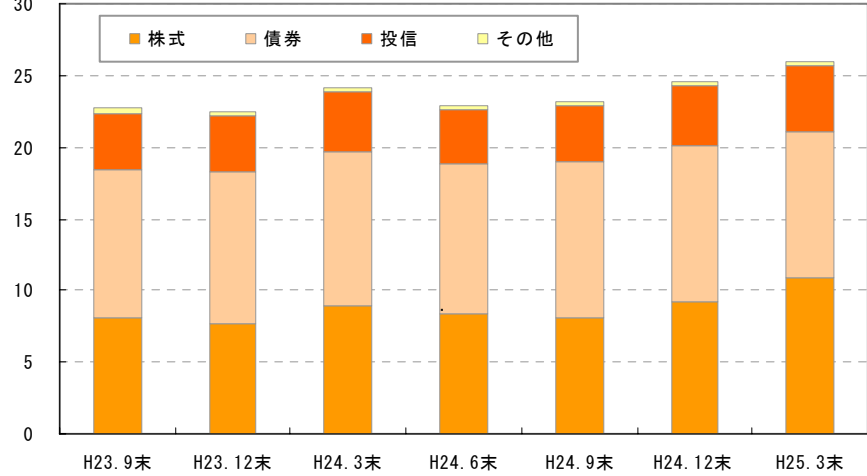
(単位未満切捨)

預かり資産推移

- 預かり資産残高は、株式市況の好転を主因に大きく増加。
H25.3末の残高は26兆円と、3年ぶりの高水準となった。
- うち、国内営業部門の預かり資産はH25.3末現在、22.8兆円。
(同 H24.12末現在 21.4兆円)

預かり資産の推移

(単位: 兆円)



単位: 兆円

	H23.9末	H23.12末	H24.3末	H24.6末	H24.9末	H24.12末	H25.3末
株式	8.1	7.7	9.0	8.3	8.1	9.3	10.9
債券	10.4	10.6	10.7	10.5	10.9	10.8	10.1
投信	3.9	3.9	4.1	3.9	3.9	4.2	4.7
その他	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
合計	22.7	22.5	24.1	22.9	23.2	24.6	26.0

(四捨五入表示)

単位:百万円

損益計算書

	通 期	
	H24年3月期	H25年3月期
営業収益	181,157	230,427
受入手数料	90,022	110,137
トレーディング損益	69,664	97,254
その他	-479	125
金融収益	21,949	22,909
金融費用	11,027	10,158
純営業収益	170,130	220,268
販売費・一般管理費	169,631	172,418
営業損益	498	47,849
営業外損益	2,277	1,622
経常損益	2,776	49,472
特別損益	-21,977	1,177
法人税等	-2,405	-5,448
純損益	-16,794	56,098

	四 半 期					
	H24年3月期		H25年3月期			
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
	40,333	53,768	46,043	54,273	53,338	76,771
	19,053	26,291	18,357	25,285	26,315	40,179
	18,472	19,907	23,554	21,786	23,090	28,823
	4	-493	15	32	53	24
	2,802	8,062	4,116	7,169	3,879	7,744
	2,744	2,681	2,886	2,629	2,288	2,353
	37,589	51,086	43,156	51,644	51,049	74,417
	39,268	43,705	40,043	41,564	40,621	50,189
	-1,678	7,380	3,113	10,079	10,427	24,228
	522	939	834	322	390	74
	-1,155	8,319	3,948	10,402	10,818	24,303
	-20,887	-1,570	-585	1,522	91	149
	62	-1,720	-2,407	-1,241	-1,312	-487
	-22,106	8,469	5,769	13,166	12,222	24,939

貸借対照表

単位:十億円

	H24年3月末	H24年9月末	H25年3月末
流動資産	12,740	13,740	14,071
現金・預金	349	252	621
トレーディング商品	8,299	9,084	9,772
有価証券担保貸付金	3,376	3,884	3,076
その他	715	518	600
固定資産	65	58	68
有形固定資産	16	15	15
無形固定資産	22	21	19
投資その他の資産	25	22	33
資産合計	12,805	13,799	14,139

	H24年3月末	H24年9月末	H25年3月末
流動負債	12,282	13,322	13,606
トレーディング商品	7,109	7,376	7,354
有価証券担保借入金	3,460	3,670	4,066
短期借入金	749	1,142	1,234
その他	964	1,133	950
固定負債	295	231	243
長期借入金	280	217	226
その他	14	13	17
負債合計	12,579	13,555	13,851
純資産	226	243	288
負債・純資産合計	12,805	13,799	14,139

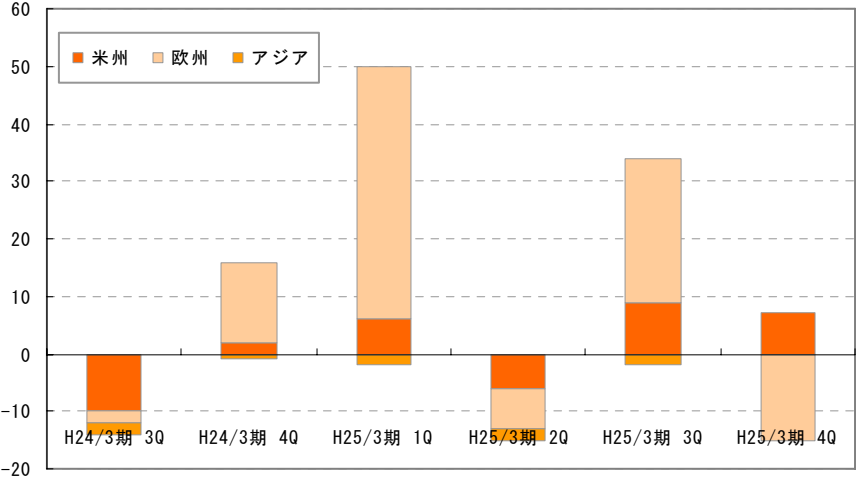
(単位未満切捨)

海外現地法人 業績推移

- 欧州債務問題等で舵取りの難しい市場環境が続き、期毎に収益のブレはあったが、銀証協働の進展等により通年で56億円の経常黒字を確保。
- 欧州は通年黒字を継続したほか、米州も通年での黒字を達成。
- 海外戦略の一体性向上に資するため、拠点毎の管理体制に加え、業務毎の拠点横断的な管理・運営の高度化を推進。

経常損益：四半期業績の推移

(単位: 億円)



単位: 億円

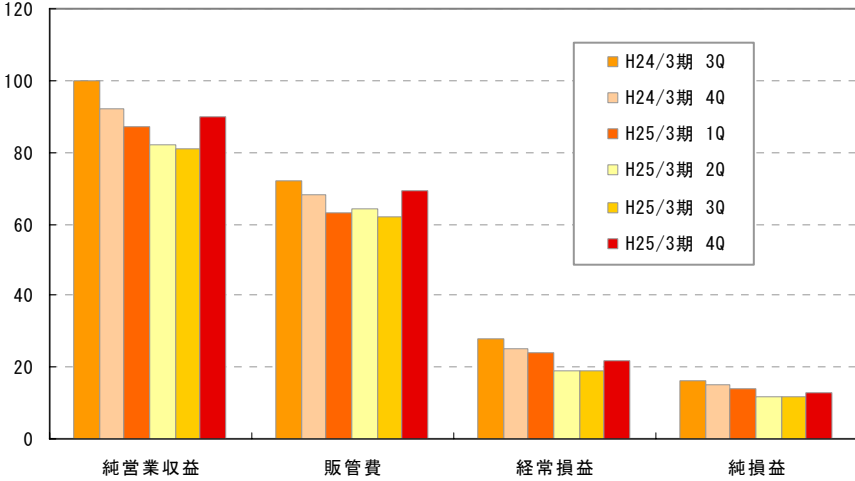
	H24/3期 3Q	H24/3期 4Q	H25/3期 1Q	H25/3期 2Q	H25/3期 3Q	H25/3期 4Q
米州	-10	2	6	-6	9	7
欧州	-2	14	44	-7	25	-15
アジア	-2	-1	-2	-2	-2	-0
合計	-14	15	48	-16	32	-8

国際投信投資顧問 業績推移

- 市況の好転、商品ラインアップの拡充、マーケティング力の強化等により、運用資産残高全体は3Qから増加に転換。
- 経常利益、当期純利益とも3Q比で増益を確保し、減少トレンドに歯止め。

四半期業績の推移

(単位: 億円)



単位: 億円

	H24/3期 3Q	H24/3期 4Q	H25/3期 1Q	H25/3期 2Q	H25/3期 3Q	H25/3期 4Q
純営業収益	100	92	87	82	81	90
販管費	72	68	63	64	62	69
経常損益	28	25	24	19	19	22
純損益	16	15	14	12	12	13

(単位未満切捨)

外部格付

- MUFGグループの中核証券であることを背景に安定的な格付水準を維持。
- H24年12月にR&IはA+からAA-へ格上げ。リスク管理体制の抜本的な見直し、コスト削減やリテール部門の生産性向上、顧客のオーダーフロー中心のビジネスの再構築などを評価。
- 格付の先行きに対する見通しも安定的。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券(MUMSS)

H24.12.3現在

格付機関	長期格付	短期格付
格付投資情報センター(R&I)	AA-	a-1+ *
日本格付研究所(JCR)	AA	-
ムーディーズ	A1	P-1
S&P	A+	A-1

*CP格付

三菱UFJ証券ホールディングス(MUSHD)

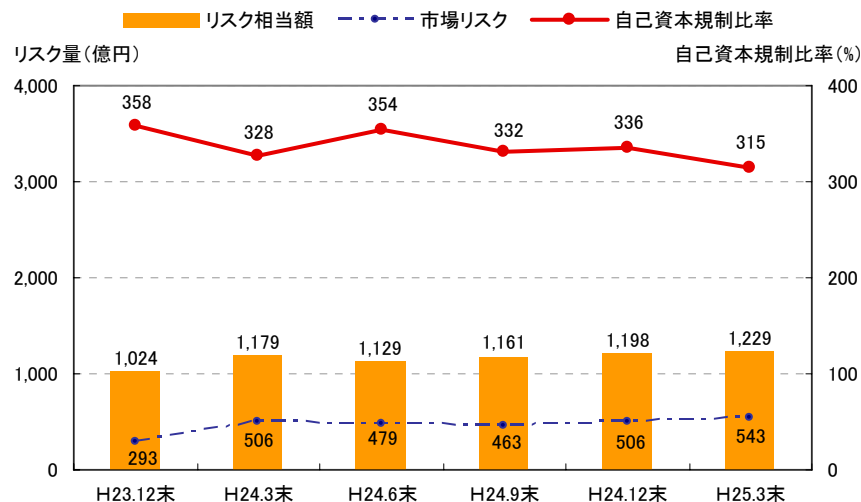
H24.12.3現在

格付機関	長期格付	短期格付
格付投資情報センター(R&I)	AA-	-
日本格付研究所(JCR)	AA	-
ムーディーズ	A2	P-1
S&P	A	A-1

自己資本関連指標

- 証券自己資本規制に関する告示の改正(H24.3末から適用)による市場リスク量の計算手法の変更で、MUMSSの同リスクはH24.3末に増加。
- 一方、昨年度のMUMSS増資(750億円)、各種リスクや固定資産の削減施策を通じ、当該比率は十分な水準を確保。
- 連結・証券単体ともに、最近の利益積み上げも純資産の増加に貢献。

自己資本規制比率 MUMSS



純資産関連指標 MUSHD連結/MUMSS単体

単位: 億円

MUSHD連結	H23.12末	H24.3末	H24.6末	H24.9末	H24.12末	H25.3末
資本金	755	755	755	755	755	755
純資産合計	7,994	8,196	8,383	8,434	8,653	9,244

MUMSS単体	H23.12末	H24.3末	H24.6末	H24.9末	H24.12末	H25.3末
資本金	405	405	405	405	405	405
純資産合計	2,183	2,264	2,318	2,439	2,567	2,885

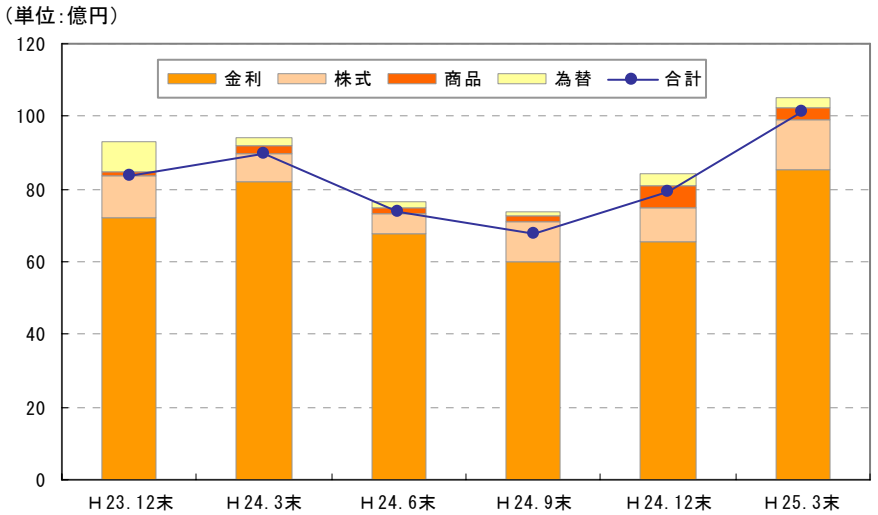
(単位未満切捨)

トレーディング業務の市場リスク量*

- 市場リスク量は、H25.3末は前期末対比で増加。
- 市場リスク量の主たる変動要因は、国内拠点の債券在庫増加による金利リスク増加によるもの。

*市場リスク量:ヒストリカルシミュレーション法(保有期間10日、信頼区間99%、観測期間701営業日)によるバリューアットリスク

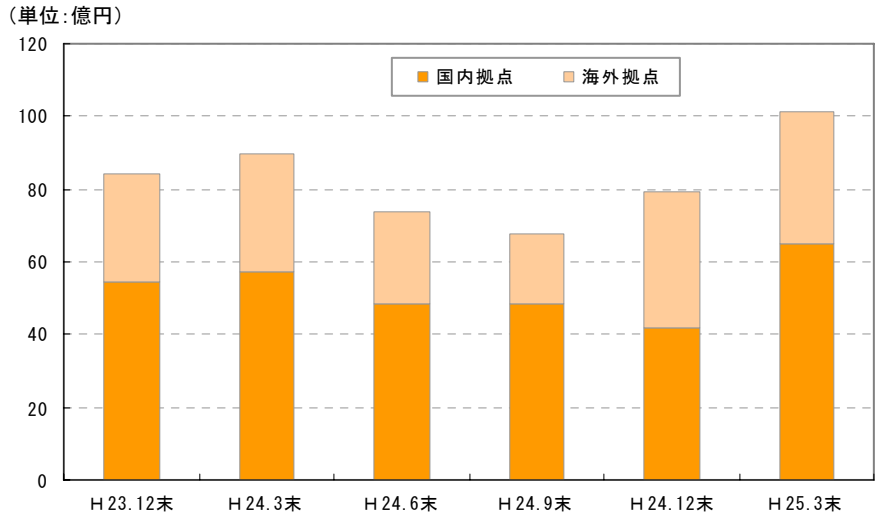
リスクカテゴリー別市場リスク量の四半期推移



単位:億円

	H23.12末	H24.3末	H24.6末	H24.9末	H24.12末	H25.3末
金利	72	82	68	60	65	85
株式	12	8	6	11	9	13
商品	1	2	1	2	6	3
為替	8	2	2	1	3	3
合計	84	90	74	68	79	101

拠点別市場リスク量の四半期推移



単位:億円

	H23.12末	H24.3末	H24.6末	H24.9末	H24.12末	H25.3末
国内拠点	54	57	48	48	42	65
海外拠点	30	33	25	19	38	37
合計	84	90	74	68	79	101

国内拠点:三菱UFJモルガン・スタンレー証券
海外拠点:三菱UFJセキュリティーズインターナショナル、三菱UFJセキュリティーズ(USA)、三菱UFJセキュリティーズ(香港)、三菱UFJセキュリティーズ(シンガポール)

(四捨五入表示)



三菱UFJ証券ホールディングス

本資料は、平成25年3月期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入または売却の勧誘または推奨を目的としたものではありません。本資料は、平成25年4月26日現在のデータに基づき作成されており、本資料に含まれる財務情報等は、監査法人によるレビューの対象外です。本資料に掲載されている事実および見解は、本資料作成時点において当社が認識している事実および当該時点における当社の見解であり、これらの情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。その他、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。なお、本資料のいかなる部分についても、著作権その他一切の権利は当社に帰属しており、電子的方法を含め、いかなる方法または目的であれ、当社に無断で複製、配布、転送等を行うことが禁止されますので、この点をご了承の上、本資料をご覧ください。